

# First Access

FIRST ACCESS. GINZA 1-15-7 MAC GINZA BUILDING 3F, CHUO-KU, 104-0061, TOKYO, JAPAN

TEL: 03-5843-6966 FAX: 03-5843-6967 EMAIL:INFO@HYDRO-NET.ORG

WEBSITE: [HTTP://WWW.HYDRO-NET.ORG/INDEX.HTML](http://www.hydro-net.org/index.html)



特定非営利活動法人ファーストアクセスは、電気などのエネルギーを通じた国際貢献と地球温暖化防止を志す、東京大学の学生が運営しているNPO法人です。

電気の無いアフリカの孤児院や家庭に太陽光発電ランプやパソコンなどを寄贈し、教育機会を提供しています。

## 組織概要

名称	特定非営利活動法人 ファーストアクセス (2014年2月25日“Hydronet Energy”より名称変更)
設立年月日	2006年3月31日
代表者	理事長 大野 嘉久
事業対象分野	国際協力、地球温暖化対策
スポンサー企業 (敬称略)	日本郵便株式会社(JP)、伊藤忠商事株式会社、株式会社東芝、日本アジアグループ、豊田通商株式会社、東京電力株式会社
主たる事業	<b>国際シンポジウム「東京炭素会議」</b>  駐日大使、ビジネスマン、学者そして学生を対象に再生可能エネルギーや地球温暖化防止対策について発表・討論する国際シンポジウム。スポンサー企業からの寄付金にて開催し、残った資金でアフリカの子供たちに太陽光発電ランプを寄付している。  <b>Upload Your @frica</b>  ウェブサイトを持たないアフリカの孤児院に代わってNPOメンバーがフェイスブック上にページを制作し、界中から寄付金を集められることを目指すプロジェクト。最終目標は孤児院にスポンサーを見つけること。

A composite image featuring a group of children in a school setting on the left, with a logo on the right. The logo includes a globe with a plug and the text "UPLOAD YOUR @FRICA", "Developing Facebook pages For African Orphanages", and "Powered by Hydronet Energy".

### 所在地

〒104-0061

東京都中央区銀座

1-15-7 MAC 銀座ビル

3F

### 支部

英国支部

### 電話番号

03 - 5843 - 6966

### ファックス番号

03 - 5843 - 6967

### 電子メール

info@hydro-net.org

### ウェブサイト

<http://www.hydro-net.org/index.html>

### 税務会計顧問

さくら中央税理士法人

(東京都中央区) 代表

税理士 安田 信彦

## 事業紹介

サハラ砂漠以南のアフリカ諸国では電化率が低く、とりわけ都市部から離れた農村や山岳地帯においては、ほとんど電気が使えません。そして多くの子供達は日中に水汲みや農作業などで時間を取られ、勉強する機会を失っています。とりわけ孤児院の多くは政府からの援助を受けることができず、子供たちの生活はすべて寄付金に依存しています。

また、農村の家庭で使われている灯油ランプは本を読むには暗く、高価な燃料費もかかる上に有害な煙も排出するため、子供の勉強には適していません。

そこで、ファーストアクセスは子供達が夜間でも安心して本を読み、字を覚えて勉強ができるよう、燃料がいらずCO2も排出しない太陽光発電ランプを寄贈しています。また、孤児院が世界中から寄付金を集めるためのインターネットの導入も支援しています(ディーゼル発電機、燃料費、中古パソコン、接続費用を拠出)。

### First Access – What we do



活動地域

アフリカ子ども基金

### アフリカ子ども基金 (Lights for African Children Foundation /LACF)

個人からの寄付金を募り、アフリカの子供たちにパソコンや発電機、太陽光発電ランプを寄贈する活動。台湾や中国など、国際的に追随する動きもある。



シエラ・レオネ CMFO 孤児院に届いたパソコンおよび小型発電機  
(2012年5月)

国際シンポジウム  
東京炭素会議  
(旧称：  
東京ライツ・アフリカ)

2013年度（東京大学 山上会館）



中川雅治  
参議院議員



鈴木達治郎 内閣府  
原子力委員会委員長代理



神野 美和 東京都 環境局  
国際環境協力課 課長



鈴木 謙二 東芝  
コミュニティ・ソリューション社参事

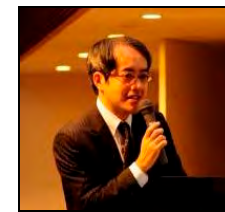
2012年度（東京大学 セイホク・ギャラリー）



東芝 風尾技師長



国際航業 津野部長



東大 小宮山助教



パネル・ディスカッション

2011年度（東京大学 セイホク・ギャラリー）



ウガンダ大使



経産省 添田課長補佐



東大 阿部教授



パネル・ディスカッション

シンポジウムの残余資金にて寄贈した太陽光発電ランプを手にするアフリカの子供たち

<ケニア>

ケニアのエイズ孤児院「[ニュンバーニ・ビレッジ](#)」は両親をエイズで亡くした子供たちが暮らしている。電気がないため夜は真っ暗だが、今ではCO2を排出しない太陽光発電ランプで日没後も勉強している。



<シエラ・レオネ>

10年以上も続く内戦で国土が荒廃したシエラ・レオネでは両親を亡くした子供たちも多いが、ほとんどの孤児院には電気が来ていない。

当初は日本からの輸送を試みるも困難だと判明、そこでガーナの輸送業者にランプを引き取ってもらい、関税を取られないように現地で開梱したのち一度使ってもらって、わざと“中古品”にして孤児院(CMFO)の負担軽減を図った。結局は現地の税関職員から“関税”という名目の賄賂を要求されたためNPOから追加送金を余儀なくされたが、こうして一年以上かけて2011年6月にはようやく届き、光るランプを手にした子供たちは叫び走り回って喜んだという。



# マスコミでの紹介

新聞（電気新聞）

## 2013年11月

2013年度国際シンポジウムが業界紙で日本最大部数を持つ電気新聞で報道される。



新聞（電気新聞）

## 2011年11月

2011年度国際シンポジウムが業界紙で日本最大部数を持つ電気新聞で報道される。



雑誌（ソトコト）

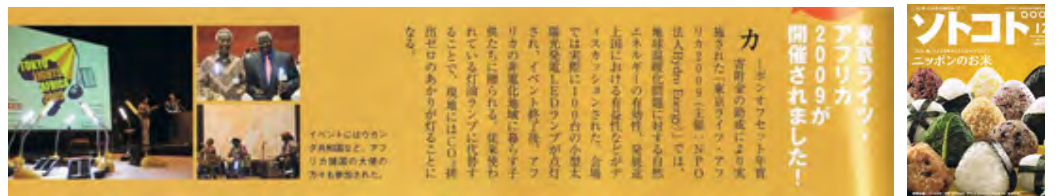
## 2010年1月



エコ・プロダクツ展におけるプレゼンが環境系有力誌「ソトコト」2010年1月号で紹介される。

雑誌（ソトコト）

## 2009年12月



2009年度国際シンポジウムが環境系有力誌「ソトコト」2009年12月号で記事になる。

企業パンフレット (JP)

## 2009年11月



2009年度国際シンポジウムがJP(日本郵便)で紹介され、全国の郵便局で配布される。